

## 地域医療支援病院業務報告書の記載について

### 【全体】

- 1 地域医療支援病院業務報告書により報告すべき 1～10 の項目について、別紙 1～9（国様式例第 11～19）に基づき作成し、提出すること。
- 2 医療法の一部を改正する法律の実施について（平成 10 年 5 月 19 日健政発第 639 号 厚生省健康政策局長通知）（以下、通知と言う。）の第二 地域医療支援病院に関する事項の「五（十）」により地域医療支援病院として取組みを行うことが望ましい事項については、「別紙 10 その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類」（国様式例第 20）により作成し、提出すること。

### 【各項目の注意点】

#### ● 別紙 1 「地域医療支援病院の名称及び開設の場所」

- (1) 「1 地域医療支援病院の名称」及び「2 開設の場所」について  
病院開設者の住所及び氏名、地域医療支援病院の名称及び開設所在地の場所を省略せずに記載すること。
- (2) 「4 病床数」について  
種別ごとの開設許可病床数を記載すること
- (3) 「5 施設の構造設備」について  
主な設備として、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記載すること。

#### ● 別紙 2 「紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績」

- ・月ごとの紹介患者の数、初診患者の総数、逆紹介患者の数等（初診、紹介患者から除かれる救急搬送患者数、夜間休日受診患者、健診目的受診患者も記載し、除いている計算式がわかること）がわかる資料を添付すること。

#### ● 別紙 3 「共同利用の実績」

- (1) 「1 共同利用の実績」欄について  
当該欄に記載する「共同利用を行った医療機関の延べ数」及び「これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数」については、例えば「病床」、「医療機器」、「研修施設」のように、共同利用の対象となる施設・設備ごと区分して記載すること。また、共同利用規程等の資料を添付すること。

### 【例】 1 共同利用の実績

・ 病床の共同利用	医療機関の延べ数・・・〇〇施設 うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数・・・〇〇施設
・ 医療機器	
MRI の共同利用	医療機関の延べ数・・・〇〇施設 うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数・・・〇〇施設
CT の共同利用	医療機関の延べ数・・・〇〇施設 うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数・・・〇〇施設
・ 研修施設の共同利用	医療機関の延べ数・・・〇〇施設 うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数・・・〇〇施設
合計	医療機関の延べ数・・・◎◎施設 うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数・・・◎◎施設
・ 共同利用に係る病床の病床利用率・・・●●%	

※医療機器については、機器ごとの共同利用した医療機関の実績の延べ数を記載してください。

### (2) 「4 登録医療機関の名簿」について

- ・登録医療機関ごとに記載することとし、医師ごとの記載とはしないこと。
  - ・名簿の末尾に、医科・歯科ごとの登録医療機関数の合計を記載すること。
- ※様式に登録医療機関を直接記載せず、別添とする場合は、様式に医科・歯科ごとの登録医療機関の合計数は記載したうえで、別添とすること。

### 【例】 4 登録医療機関の名簿

医療機器の共同利用の登録医療機関名簿に記載された医療機関数
医科    〇〇施設 (うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数・・・〇〇施設)
歯科    〇施設 (うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数・・・〇〇施設)
※登録医療機関名簿は、別添3のとおり

### ● 別紙4 「救急医療提供の実績」

#### (1) 「1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況」について

- ・原則として、重症救急患者への対応が可能であることがわかる実績等を有する医師、看護師、薬剤師等を記載する。(備考欄に、救急等の学会の指導医・認定医、認定看護師、認定薬剤師等の資格及び過去の救急救命センター等の従事年数等を必ず記載すること。)
- ・名簿の末尾に、医師・看護師、常勤・非常勤、専従・非専従ごとの人数及

び認定医等ごとの延べ人数の合計を記載すること。

※様式に医療従事者名を直接記載せず、別添とする場合は、様式には重症救急患者への対応が可能であることがわかる実績等を有する医師・看護師、常勤・非常勤、専従・非専従ごとの人数及び認定医等ごとの延べ人数の合計を記載したうえで、一覧を別添とする旨を記載すること。

**【例】 1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況**

<b>【医師】</b>		
常勤	専従	1名 救急科指導医○名
常勤	非専従	3名 救急科認定医○名 ○○○認定医○名
非常勤	専従	5名 救急科指導医○名 救急科認定医○名 ○○○認定医○名
<b>【看護師】</b>		
常勤	専従	3名 救急認定看護師○名
常勤	非専従	15名 救急認定看護師○名 ○○認定看護師○名
<b>【薬剤師】</b>		
常勤	非専従	1名（救急認定薬剤師）
※ 医療従事者名簿は、別添4のとおり		

(2) 「5 救急医療の提供」欄について

- ・区分ごとに月ごとの内訳がわかる資料を添付すること。
- ・承認要件のうち通知の第二 地域医療支援病院に関する事項の「三（三）エ一）」を満たすことにより承認となる場合、別紙5の内容とは別に「地方公共団体又は医療機関の所属する救急自動車により搬送された患者の数／救急医療圏人口×1000 $\geq$ 2」である状況を記載した資料を添付すること。

※救急医療圏人口とは、二次医療圏人口とする。

※ドクターヘリでの搬入した患者の数は、「救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数」として含めても差し支えない。その場合ドクターヘリでの搬入した患者の数がわかるように記載すること。

● 別紙5 「地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

(1) 「1 研修の内容」について

- ・地域医療支援病院が主催し、地域の医療従事者を対象とし参加した研修会

- を項目別に分類したうえで、開催延べ数、研修参加延べ数、病院参加者・院外参加者（医師・医師以外の医療従事者数は必ず記載すること。）
- ・別添として、開催した研修ごとに、開催日時、会場、名称、目的、対象者（医師、その他の医療従事者などの研修の意図する職種を記載）及び参加者数（報告書提出病院参加者数及び外部医療機関等の参加者数を医師、その他の医療従事者別を区分すること。）を作成すること。
  - ・新型コロナウイルス感染症の影響により、実施することに現に支障が生じている場合等には、延期又は休止等の措置をして差し支えない。なお、その結果、承認要件である年 12 回以上の開催回数を満たさなくとも差し支えないものとする。

**【例】 1 研修の内容**

**【令和〇年度】**

〇〇に係る研修会

開催延べ数	8回		
研修参加者延べ数	〇〇〇人		
内 当病院参加者数	〇〇〇人	(医師 〇〇〇人、医師以外	〇〇〇人)
〃 院外参加者数	〇〇〇人	(医師 〇〇〇人、医師以外	〇〇〇人)

△△に係る研修会

開催延べ数	5回		
研修延べ参加者数	〇〇〇人		
内 当病院参加者数	〇〇〇人	(医師 〇〇〇人、医師以外	〇〇〇人)
〃 院外参加者数	〇〇〇人	(医師 〇〇〇人、医師以外	〇〇〇人)

□□に係る研修会（〇〇症例検討会）

開催延べ数	6回		
研修延べ参加者数	〇〇〇人		
内 当病院参加者数	〇〇〇人	(医師 〇〇〇人、医師以外	〇〇〇人)
〃 院外参加者数	〇〇〇人	(医師 〇〇〇人、医師以外	〇〇〇人)

**【計】**

病院参加者数	〇〇〇人	(医師 〇〇〇人、医師以外	〇〇〇人)
院外参加者数	〇〇〇人	(医師 〇〇〇人、医師以外	〇〇〇人)

※各研修会ごとの目的、対象者、参加者数の実績等は、別添5のとおり

【例】 別添 5

開催日時	会場	研修等名称	目的	対象者	参加者数※ ( ) 医師数		
					計	当病院	院外
令和〇年 〇月〇日 ～	▲▲病院▲▲ 講堂	「事例から考える △△対応」	△△対応事例を検証する とともに、今後の対 応を検討する	医師、看護師 その他医療従事 者	40 (26)	25 (16)	15 (10)
					150 (90)	80 (60)	70 (30)

・根拠資料としてそれぞれの研修会等の募集案内を添付すること。

(2) 「2 研修の実績」について

「1 研修の内容」で記載した開催回数、延べ人数と一致すること。

(3) 「3 研修の体制」について

研修プログラム及び研修委員会の設置要領等や開催がわかる資料を提出すること。また、「研修指導者」欄は、別添とはせず様式に記載すること。

● 別紙 6 「診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法」

- ・「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。
- ・「保管場所」欄について、複数の保管場所がある場合は、すべてを記入すること

● 別紙 7 「診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績」

- ・「閲覧の手続の概要」欄には、閲覧請求者による請求手続き、院内での手続きなど、閲覧までの流れも含め記載すること。(別添資料とはせず、様式に概要を記載すること)

● 別紙 8 「医療法施行規則第 9 条の 19 第 1 項の委員会の開催の実績」

- ・委員会の開催日数が 1 回以下の場合は、その理由書を別途作成し、提出すること。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、実施することに現に支障が生じている場合等には、延期又は休止等の措置をして差し支えない。なお、その結果、委員会の開催回数が規定の開催回数（半期に 1 回以上（年 2 回以上））を満たさなくとも差し支えないものとする。その場合には、その旨を記載した理由書を別途作成し、提出すること。

- ・「委員会における議論の概要」欄は、前年度に開催した委員会ごと、開催日時、開催場所、委員の現員数、出席した委員の数、議題及び病院管理者への意見の提出の有無を記載すること。意見があった場合、対応状況についても記載すること。（病院への意見及び対応状況は必ず、様式に記載すること）

**【例】委員会における議論の概要**

令和○年度 第1回 ○○病院地域医療支援病院運営委員会

日時 令和○年○月○日

場所 院内○棟 ○○○会議室

委員総数 10人

出席委員数 8人

議題

1 ○年度 地域医療声援病院の地域医療連携に係る実績報告

(1) 紹介率・逆紹介率

(2) 救急搬送患者の受入れ等救急医療の提供の実績

(3) 地域医療従事者に資質の向上を図るための研修会の開催状況

(4) 医療機器等の共同利用の実績

(5) その他

2 意見交換

3 その他

**【病院への意見及び対応状況概要】**

病院に対し、○○○病に関し、過去の認識等から紹介先を○○科としていたが、実際は相違し、患者が一部で混乱したケースがあったとの指摘があったことから、会議後に、紹介先の誤りが多い病名等について一覧及び紹介科を記載の表を作成し、地域診療所に周知した。

令和○年度 第2回 ○○病院地域医療支援病院運営委員会

日時 令和○年○月○日

場所 院内○棟 ○○○会議室

委員総数 10人

出席委員数 8人

議題

1 ○年度○月まで 地域医療声援病院の地域医療連携に係る実績報告

(1) 紹介率・逆紹介率

(2) 救急搬送患者の受入れ等救急医療の提供の実績

(3) 地域医療従事者に資質の向上を図るための研修会の開催状況

(4) 医療機器等の共同利用の実績

(5) その他

2 意見交換

3 その他

**【病院への意見及び対応状況概要】**

○○の研修会に関しては、○○等の内容を充実させてほしいとの要望があり、令和○年度は、○回目の研修会において実施する等対応した。また、今後も継続して、○○等の内容の研修を実施していく。

- ・それぞれの委員会に係る配布資料、議事録（議事録がない場合は、会議の概要をまとめた資料）及び委員会名簿（委員の所属が記載されていること）を別途添付すること。

## ● 別紙 9 「患者相談の実績」

「患者相談の概要」欄に記載する相談内容等については、次の区分ごとに分類した相談件数を記載し、あわせて相談に対して講じた対策等を記載すること。

(別添資料とはせず、必ず様式に概要を記載すること)

- ① 健康相談 (一般的な相談)
- ② 医療行為・医療事故・情報公開
- ③ 診療報酬等の費用負担
- ④ 職員の対応・接遇
- ⑤ 病院の設備、人員、運営体制等
- ⑥ その他

### 【例】患者相談の概要

① 健康相談 (一般的な相談)	〇〇〇件
② 医療行為・医療事故・情報公開	〇〇〇件
③ 診療報酬等の費用負担	〇〇〇件
④ 職員の対応・接遇	〇〇〇件
⑤ 病院の設備、人員、運営体制等	〇〇〇件
⑥ その他	〇〇〇件
合計	〇, 〇〇〇件

- ・近年、職員の対応に関する相談件数が増加していたため、全職員を対象とした接遇研修を実施した。
- ・2～3年前より相談件数の増加及び1件あたりの相談時間が伸びたため、地域医療連携室の職員を1名増員した。
- ・費用負担の相談において、高額療養費制度 (限度額適用認定証等) を知らない患者が多かったため、入院の手引きの見直しや、医療費に関するリーフレットを作成し外来に待合に設置するなどその制度の周知を図った。

※上記例「⑥その他」の件数が多い場合は、その他を小分類化 (項目名を明記) し、記載するとともに、その他の内数としての件数を記載すること。

## ● 別紙 10 「その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類」

### (1) 「1 病院の機能に関する第三者による評価」について

評価を受けた時期は、最新の評価の時期とともに、最初に評価を受けた時期も記載すること。

### (2) 「2 果たしている役割に関する情報発信」について

「情報発信の方法、内容等の概要」は、情報発信の媒体及び媒体ごとの年間の発信回数などを記載すること。

### (3) 「3 退院調整部門」について

部門の担当課 (室) 名、職員数、業務内容とともに、部門の退院に係る実績 (退院調整加算数、介護支援連携指導料や部門で有している退院調整に係

る統計数値)についても記載すること。

(4)「4 地域医療連携を促進するための取組み」について

- ・地域医療連携クリティカルパスの種類ごとの名称とその内容、実績などについても記載すること。
- ・「普及させるための仕組み」として、院内及び地域の医療機関との連携状況等を含めた普及促進の取組み状況を記載するとともに、その普及のための地域医療連携クリティカルパスに係る委員会等の名称、委員の現員数(院内委員数と院外委員数も記載)・開催回数、特記すべき検討内容がある場合はその概要、なども記載すること。(別添資料とはせず、必ず様式に記載すること)